

令和6年度 第3回 藤沢市立大清水中学校 学校運営協議会会議録

開催日時 2024年9月25日（水）15時～16時40分  
 場 所 大清水中学校 相談室

出席委員等	<p>安藤 正俊（会長／三者連携ふじさわ大清水心のかげはし会 会長）                  山下 尚子（副会長／大清水中学校 校長）                  吉田 正彦（大清水中学校 第9代校長）                  笠原 昭彦（県立藤沢清流高校 校長）                  吉田 純（大清水中学校 保護者）                  佐藤 由美（藤沢西部地区青少年育成協力会 役員）                  井出 祥子（藤沢公民館 館長）                  野際 良介（聖園子供の家 施設長）                  小坂 亜希（大清水中学校 元PTA 役員）                  小原 多江子（人権擁護委員）                  坂口 由紀（大清水中学校 教頭）                  古谷 細保（大清水中学校 教務主任）</p> <hr/> <p>出席委員：11名（欠席委員：1名 佐藤委員）                  事務局：坂口 由紀（大清水中学校教頭）                  その他出席者：校内支援担当（板羽教諭）学校安全担当（吉原総括教諭）                  オブザーバー：1名（大清水小学校加藤校長）</p>
次第	<p>1. 開会                  (1) 会長より                  (2) 副会長より</p> <p>2. 議題                  (1) 校内支援について                  (2) 学校安全について                  (3) 学習状況調査について                  (4) 地域学校協働推進員について                  (5) 校内支援センターについて                  (6) その他</p> <p>3. その他 事務連絡 次回の会議日程</p> <p>4. 閉会</p>
協議内容	<p>(1) 校内支援について（プリントあり）                  今年度の生徒支援の計画、具体的支援（相談活動・学習支援・ケース会・支援会議）の説明。                  Q：不登校の人数は→クラスに1～2名程度。                  Q：実践して改善する生徒はどのくらい→大きな変化はなくともスモールステ</p>

ップで。

Q：SC利用頻度は→年度によって違う。

Q：ペアレントトレーニングは→関わりについて伝えられる範囲で伝えている

Q：外部機関の関わりは→学校内での対応に困っている事例でつながっている機関もある。

Q：相談について→生徒のみ、保護者のみ、両方で、と形態は様々。年間を通して継続した相談を行っているケースが多い。

Q：学校への登校が目標？→ケースバイケース、本人が望む支援を。誰かと関わることは大切だと感じている。

Q：学習支援のあり方は？→本人の希望、ご家庭からの要望も含め決定。人材は元校長、本校の講師。

## (2) 学校安全について

6月（火災訓練）、9月（地震、大津波訓練）に実施。当日の状況を説明。

### 【課題】

- ・少人数の学校のため、役割通りにできないことがある。
- ・課題の洗い出しが必要である。

### 【意見】

- ・夏（8/31の水害危険発令）の件で、小・中・高で連絡を密にとれると良い。
- ・地震・水害に向けてどうするか家庭に周知を。
- ・立地的に橋を渡って帰らなければならない状況なので、後手にならないよう早目の対応が必要。
- ・3/11では、寒さ、余震の中鍵を取りに戻らなければならない状況があった。下校時、家に入れるように持っていることが大切。
- ・災害が起こった際、外に避難、垂直に避難、それぞれに応じて正しい知識、密な連絡を。
- ・地形として地盤の弱さもあり、もし橋の崩れがあった場合どうするか、情報をどう正しく入手するか。
- ・情報を入手するためのタブレットPCが防災倉庫に入っている。
- ・高校では大雨洪水の際、同じ河川沿いの近隣校の様子を確認、さらに県にも確認し早めの判断を行った事例もあった。
- ・橋の安全性についても確認が必要。
- ・水害避難所では食糧はでない。
- ・避難した人が何人いるかサイトでわかる。
- ・防災倉庫が下にあるのは大丈夫だろうか。
- ・遊水池ができたことで良くなったこともあるが、冠水する場所もある。
- ・校内には多くの災害用の機器がある。

## (3) 学習状況調査について

- ・自己有用感を高めていけるように、生徒たちの心を耕していきたい。
- ・SNSの利用については使い方を確認していく必要がある。

<p>(4) 地域学校協働推進員について</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・無理のない範囲で協力をお願いできる方に連絡をしている。</li><li>・地区別に配置できると良いという話がある。</li><li>・学校別でやること、地区別でやること、それぞれの学校の現状に合わせてできると良い。</li></ul> <p>(5) 校内支援センターについて</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・現在、学校の現状とニーズを含め、検討中。</li></ul> <p>(6) その他</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・スポットライトの電球が廃盤で、お借りできるとありがたい。 →藤沢清流高校快諾</li></ul>
--

次回開催予定 2024年12月17日(火) 大清水中学校2階 相談室